

【NEWS RELEASE】

2020年12月4日

SMBC日興証券株式会社

名古屋高速道路公社のソーシャルボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、名古屋高速道路公社(理事長:新開 輝夫、本社所在地:愛知県名古屋市、以下「本公社」)が発行する地方道路公社初のソーシャルボンド^{*1}の引受けにおいて、事務主幹事及びソーシャルボンド・ストラクチャリング・エージェント^{*2}を務めましたのでお知らせいたします。

本公社は、高度経済成長期の急速なモータリゼーションの進展を背景に、名古屋市及びその周辺の地域において交通の円滑化による住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とし、地方道路公社法に基づく全国初の地方道路公社として、愛知県と名古屋市により1970年9月に設立され今年で設立50周年を迎えました。

本公社の高速道路事業は、大都市における都市交通の円滑化とともに、環境の改善や交通事故の減少などの様々な効果が期待されていると同時に、交通流の円滑化と高速道路の利便性や安全性向上による利用促進は本公社にとっての重要な課題とされています。2020年度の名古屋第二環状自動車道(名二環)名古屋西ジャンクション～飛島ジャンクションの開通による、名古屋高速道路と名二環が一体となった名古屋市周辺の高速道路ネットワークの完成など、本公社による社会基盤の整備や大規模プロジェクトによって経済活動の広域化、交流人口の拡大がもたらされます。その効果が名古屋都市圏の隅々に行き渡るよう、名古屋高速道路は都心へのアクセス向上や渋滞対策といった高速道路ネットワーク機能の一層の発揮、お客さまの利便性向上につながる取り組みを進めています。

今回のソーシャルボンドで調達した資金は、本公社の高速道路事業に充当され「経済活動の広域化・交流人口の拡大」や「道路構造物の高齢化」など、公社事業を取り巻く社会的課題の解決に取り組むこととなります。

当社では、環境問題や社会問題の解決に資するファイナンスニーズの捕捉及びESGの推進に積極的に取り組んでおります。この度の地方道路公社として初となるソーシャルボンドのストラクチャリング・エージェントとしての関与は、当社における地方道路公社が直面する社会的課題やソーシャルボンドに係る知見を示すと同時に、日本におけるESGファイナンス市場の更なる発展に繋がるものと自負しております。また、当社は地球環境が最大のステークホルダーの一つであるという認識のもと、環境関連ファイナンスやソーシャルファイナンスをリードするとともに、自治体など地域における様々な課題を共に解決していく存在をめざし、SDGsの掲げる「働きがいも経済成長も」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」及び「住み続けられるまちづくりを」に貢献していきます。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

※1 社会的課題解決に資する事業の資金を調達するために発行する債券。名古屋高速道路公社は、ソーシャルボンドの発行のために国際資本市場協会(ICMA)による「ソーシャルボンド原則(The Green Bond Principles)2020」に即したソーシャルボンドフレームワークを策定。なお、本公社のソーシャルボンドフレームワークに対する第三者評価として、株式会社格付投資情報センターよりセカンドオピニオンを取得。

※2 ソーシャルボンドのフレームワークの策定及びセカンドオピニオンなど外部の第三者評価の取得に係る助言等を通じて、ソーシャルボンドの発行支援を行う者。

【今回発行される名古屋高速道路公社のソーシャルボンドの概要】

名称	愛知県・名古屋市折半保証名古屋高速道路債券	
回号	第 152 回	第 153 回
年限	10 年	15 年
利率	0.140%	0.306%
発行額	80 億円	70 億円
条件決定日	2020 年 12 月 4 日(金)	
払込日	2020 年 12 月 15 日(火)	
償還日	2030 年 12 月 13 日(金)	2035 年 12 月 14 日(金)
事務主幹事	SMBC日興証券株式会社 (共同主幹事:三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社)	
ソーシャルボンド・ストラクチャリング・エージェント	SMBC日興証券株式会社	

以 上